

平成 25 年 7 月 8 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二  
 ( J A S D A Q ・ コード 6159 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部管理課課長 山口 洋子  
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

## 平成 25 年 8 月期 第 2 四半期累計期間業績予想値との差異に関するお知らせ

平成25年4月9日に公表いたしました平成25年8月期 第2四半期累計期間（平成24年12月1日～平成25年5月31日）業績予想について、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

1. 連結 平成25年8月期 第2四半期累計期間 連結業績予想と実績の差異  
 （平成24年12月1日～平成25年5月31日）  
 （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	1,814	165	190	119	54円18銭
今回修正（B）	1,518	148	637	397	181円15銭
増減額（B－A）	△296	△16	447	278	
増減率	△16.3%	△10.0%	234.8%	233.8%	
〔ご参考〕 前期第2四半期実績 <small>（平成24年11月期第2四半期）</small>	2,633	609	655	370	167円63銭

### （差異の理由）

売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としておりますが、高精度化・高能率化製品を求めお客様の検収条件の一部が未達成のため、第3四半期以降に繰越となる案件が見込まれること等から、前回予想を2億96百万円下回る15億18百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、生産効率の向上や販売費及び一般管理費の削減等、コスト削減に努めたものの、前述の売上高の減少等により、前回予想を16百万円下回る1億48百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の営業利益の減少があったものの、平成25年6月28日に開示しましたとおり、為替変動による外貨建資産等による為替差益（営業外収益）3億45百万円の計上があったこと等により、前回予想を4億47百万円上回る6億37百万円となる見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、前述の経常利益の増加等により、前回予想を2億78百万円上回る3億97百万円となる見込みであります。

2. 個別 平成25年8月期 第2四半期累計期間 前期実績との差異

(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益
前期第2四半期実績 (平成24年5月期) (A)	2,479	549	593	336
今期予想 (B)	1,431	165	654	413
増減額 (B - A)	△1,048	△384	60	77
増減率	△42.3%	△69.9%	10.2%	22.9%

(差異の理由)

売上高につきましては、前期は新興国市場をはじめとした輸出の持直しが見られたものの、今期は受注が足踏み状態であったことにより、前期実績を10億48百万円下回り、14億31百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、前述の売上高の減少等により、前期実績を3億84百万円下回り、1億65百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の営業利益の減少があったものの、為替変動による外貨建資産等による為替差益（営業外収益）3億47百万円の計上があったこと等により、前期実績を60百万円上回り、6億54百万円となる見込みであります。

四半期純利益につきましては、前期実績を77百万円上回り4億13百万円となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上